

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募

災害支援事業 採択事業

事業名 主題	質の高い継続的な被災地支援	
事業名 副題	—	
団体名	特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム	
代表者名	共同 代表理事	永井秀哉、小美野剛
解決すべき 社会課題	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動; ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動; ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	
事業の概要	近年の大規模災害において、発災から復興に至るまで民間団体による支援の有用性が周知された一方、その経済基盤の弱さによる出動の困難さや人材の高い流動性によるノウハウ流出など、被災地への様々な機会損失が課題である。 今後の大規模災害を見据え、支援から取り残される被災者をゼロにするため、迅速な出動と知見に裏付けられた信頼性の高い支援への助成を行う。 当団体の20年に渡る、世界に向けた災害対応の助成活動と、平時から高品質の支援サービスを行える団体の事前登録により、不可測の災害発生に備える。 この取組みにより、全国の将来の災害において民間の支援が約束され、ひいては国内における災害時の安心の広がりに資すると考える。	
事業期間	3年	
助成額（円）	助成金	99,977,738
	PO関連経費	27,207,000
	評価関連経費	10,042,950
	合計	137,227,688

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に助成・支援の経験があることから、実行可能性、多様な主体の参加、企業等との協働連携・対話は十分達成できると考えられる。 ・初動・緊急・復興のフェイズに分けた計画は評価できるが、各フェイズでの実行団体の選考基準を整理していただきたい。 ・支援対象となる「支援から漏れてしまう被災者」という設定も具体化していただきたい。障がい者、アレルギーを持つ方等いくつかの対象者層を明確にした上で漏れてしまう原因の分析が求められる。
--------	---

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。